



このマークがついている画像は、スマートフォンなどのアプリをインストールすることで、動画も見ることができます。
※動画を見るには、右のQRコードより市のホームページ (<http://www.city.izumisano.lg.jp/shiho/AR.html>) にアクセスし、AR (拡張現実) 技術を使った無料アプリをダウンロードしてください。



このQRコードからもアクセスできます▲



いずみさの関空マリーナでマリンフェスティバル
「海の日」の7月18日(祝)、いずみさの関空マリーナにおいてマリンフェスティバルが開催されました。稚魚放流、キッズボート体験、ロープ体験のほか、関空周遊クルージングでは関空の間近で飛行機の離着陸も見ることができて、子どもたちは大はしゃぎ。昼食のカレーの味も格別でした。



社会を明るくする運動が開催
7月16日(出)、エブノ泉の森小ホールにおいて、「社会を明るくする運動」の一環として、社明運動の趣旨に賛同する多くのみなさんの参加により住民の集いが開催されました。オープニングの日根野中学校コーラス部の合唱にはじまり、歌手デュオPaix² (ペペ)のライブ&トーク、続いて、式典と小・中学生による社明作文の発表などが催されました。



市内の小学生が女子軟式野球全国大会へ
8月開催の「NPBガールズトーナメント2016」に出場する大阪代表「大阪ベストガールズ」に選抜された泉佐野レッドスターズ所属、市立日新小学校6年生の若生彩杏さんが、7月28日(休)に市役所に表敬訪問に来てくれました。市長からは、激励のことがばが贈られました。



Peachが関西航空少年団を受け入れ
7月28日(休)、関西空港に本社のあるPeachが、空港で働く職業に興味を持ってもらおうと、関西航空少年団の団員9人を招待しました。オフィスでは「航空会社のお仕事紹介」をはじめ、現役の客室乗務員による貴重なお話があったほか、普段立ち入ることのできない第2ターミナルの駐機場内へも団員達をご案内。参加者らは、終始笑顔を見せていました。

特産品相互取扱協定を進めています

本市では、「泉佐野まち・ひと・しごと総合戦略」の一環として、昨年度から市内で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを創出し、6次産業化の促進や、タオルをはじめとした地場特産品のブランド化への取組を行っています。さらに、農業フェアなどのイベントでの地場特産品などの連携や、各地の地場特産品をふるさと納税のお礼品にするなどの強化を図っています。

このような環境のもと、本市では、お互いの特産品を相互に取り扱い、全国に共同で情報発信することを目的として、他市と「特産品相互取扱協定」の締結をすすめています。



▲7月14日(休)
奈良県葛城市



▲8月2日(火)
岩手県大船渡市
◀7月31日(日)
沖縄県石垣市



陸 上で市内中学生が全国大会へ

市立佐野中学校3年生の南田航希さんと市立第三中学校3年生の原華澄さんが800mの部で、市立長南中学校3年生の竹谷陸さんが砲丸投げの部で、8月に長野県松本市で開催される「第43回 全日本中学校陸上競技選手権大会」へ出場することを、8月12日(金)に市役所に報告に来てくれました。千代松市長からは激励の言葉とともに、奨励賞が授与されました。



モ ンゴル友好交流団が市役所で報告会

泉佐野市の次代を担う子どもたちへの国際理解教育を目的として、7月25日～28日の期間、本市と友好関係にあるモンゴル国トゥブ県へ市内中学生10人を派遣し、8月8日(月)に市役所で報告会を行いました。参加した中学生たちは、乗馬や簡易ゲルの組立、トゥブ県の子どもたちとの交流などの貴重な体験について感想を交えて報告しました。12月に開催予定の「教育フォーラム」においても、報告を行う予定です。

**「サッカー・男子」リオ2016オリンピック競技大会
パブリックビューイングが開催されました**

8月に開催されたリオデジャネイロオリンピックにおいて、泉佐野市出身の南野拓実選手がサッカー男子の日本代表メンバーに選出されました。

本市では、南野選手を応援するため、市役所本庁舎へ懸垂幕を設置するなど、リオ五輪に向けて盛り上げました。南野選手が出場した試合について、8月5日(金)・8日(月)・11日(祝)にJ:COM末広体育館でパブリックビューイングを開催したところ、一緒に南野選手を応援しようとたくさんの人が参加してくれました。



J:COM末広体育館入口のロビーには、南野選手を応援する懸垂幕やメッセージボードを設置しました。たくさんの人からの熱い応援メッセージが飾られています。



参加した人の中には、自前の応援幕を作ってきてくれた人も!他にもたくさんの人たちが南野選手を応援しようと参加してくれました。



南野選手がゴールを決めると、大きな歓声とともに、配布したイヌナギンのスティックバルーンをたたく音が鳴り響き、会場は大いに盛り上がりました。



予選最終日の8月11日(祝)は、スウェーデンを相手に勝利をおさめました。日本チームは最終的には決勝リーグには進出できませんでしたが、大型スクリーンを前に参加者は南野選手や日本チームに温かい拍手を送っていました。